



謹んで新春の招慶びを申し上げます

新冠町長 鳴海修司



新年あけましておめでとございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、町政への温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私が、昨年4月の町長選挙におきまして、第6代新冠町長に就任し、町政を担わせていただくこととなりましたことは、多くの町民の皆さまの力強いご支援とご厚情の賜物と改めて感謝申し上げます。

当町におきましては、少子高齢化、人口減少問題、医療福祉の充実、教育と子育て施策の推進、産業の振興、経済活動の活性化など様々な課題が山積しており、改めて、町政のかじ取りを担う責任の大きさや重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、昨年1年を振り返りますと、本町の基幹産業であります第1次産業については、基幹作物であるピーマンが、作付面積の増加などにより、販売額は前年よりさらに増加し7億円を越え、また、軽種馬生産におきましても、北海道市場での売却率、販売実績ともに前年を大きく上回る結果となりました。

教育文化におきましては、レ・コード館が開館20周年を迎え、また、昨年5月には、寄贈レコードが100万枚に到達し、開館記念日である6月8日に記念セレモニーを開催することができました。

本町がレ・コード館を中心に「レ・コードと音楽のまち」としてまちづくりを推進できますことは、町民皆さまのご理解と各種事業に対するご協力の賜物と感謝申し上げます、引き続き、「文化の高い町」を目指したまちづくりを推進して参ります。

町政を進めるにあたりましては、今後、幾多の困難があると思いますが、町民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、知恵をお借りしながら、町民の皆さまから賜りました負託に応えられるよう、新冠町の未来に向け果敢に課題に取り組んでいく覚悟でございます。

これまで本町を築いてこられました先人や諸先輩方のまちづくりへの思いを受け継ぎ、子や孫の世代まで安心して住み続けられる元気でいきいきとした個性豊かなまちを築き上げていくためにも、「町民の声がいかされる町政」、「わかりやすく公平・公正な町政」、「町民と行政との協働のまちづくり」の3点を基本に、「思いやりと笑顔にあふれた新冠」の実現のため、職員一丸となつて全力で町政を推進してまいりますので、町民の皆さまのご理解とご支援を賜りたいと存じます。

結びになりますますが、迎えられた新しい一年が、町民の皆さまにとりまして、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、ますますのご発展をご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。